

---

九州運輸局メールマガジン 平成27年10月15日 第317号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けいたします。

次回発行日は平成27年10月29日（木）です。

---

## ◆ 目次

### 1 現場レポート

・好評により7月に引き続き2回目の「鉄道コンテナ施設等見学会」を開催しました～モーダルシフトの推進に向けて～

・ストップ！THE小型船海難～門司海上保安部などの関係機関と小型船舶安全合同パトロール～

・めざせ！造船のプロフェッショナル～全国に3校しかない工業高校造船コースの生徒が造船現場を見学～

### 2 お知らせ

・「地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム 2015 in 九州～地域公共交通及びまちづくりにおける住民・事業者の参画について～」を開催します。

・まだまだ各地で楽しい鉄道イベントが開催中～10月は九州レイルマンス～

### 3 九州運輸局ホームページアップ情報

・報道発表

・お知らせ

・更新情報

---

## 1 現場レポート

◆好評により7月に引き続き2回目の「鉄道コンテナ施設等見学会」を開催しました

～モーダルシフトの推進に向けて～

今年2月に閣議決定された交通政策基本法に基づく交通政策基本計画では、交通に関する施策を3つの基本的方針の下で推進することと定められています。その方針の1つに「持続可能で安心・安全な交通に向けた基盤づくり」があり、環境負荷の低減として、さらなる低炭素化、省エネ化等の環境対策を進めることとしています。

また、二酸化炭素排出量の削減や交通渋滞などの環境対策の外にも、トラック運送事業者の労働力不足や運転者の長時間労働、物流の効率化などの観点から、幹線輸送を自動車（トラック）から鉄道輸送や海上輸送へ転換（モーダルシフト）することが重要な課題となっています。

鉄道貨物輸送は、営業用トラックに比べCO<sub>2</sub>排出量の原単位（1トンの貨物を1km運ぶ場合に排出されるCO<sub>2</sub>量）が約9分の1であり、環境への負荷が少ない鉄道に物流をシフトすることで、運輸部門における環境負荷の低減を図ることが可能となります。

九州運輸局では今年7月に日本貨物鉄道株式会社九州支社と共催し、公

益社団法人鉄道貨物協会、九州地方通運業連盟からも協賛をいただき荷主や運送事業者等の物流担当者を対象とした鉄道コンテナ施設等見学会を開催したところですが、参加者から好評を得たことから、10月7日に2度目の見学会を開催しました。

今回の見学会には28名の参加があり、「モーダルシフト推進施策の概要」、「鉄道コンテナ輸送について」及び「エコレールマークについて」の説明の後、福岡貨物ターミナル駅において展示の各種コンテナの形状や利点の説明、トップリフターによる31ftコンテナの荷役状況を見学しました。

今回の見学会は、晴天に恵まれ、参加者は各種コンテナの説明や荷役のデモンストレーションを熱心に見学するなど、関係者の関心の高さがうかがえ、モーダルシフトの受け皿の一つである鉄道貨物輸送に対する理解を深めていただけたのではないかと考えています。

九州運輸局では今後も多くの方にモーダルシフトへの理解を深めていただき、取り組んでいただけるよう様々な周知活動を行っていきます。その他、物流施策についてのご相談は九州運輸局交通政策部環境・物流課までお気軽にお尋ねください。

見学会の様子は次のURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_317\\_1.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_317_1.pdf)

(交通政策部 環境・物流課)

---

#### ◆ストップ! THE小型船海難

～門司海上保安部などの関係機関と小型船舶安全合同パトロール～

福岡運輸支局では門司海上保安部及び関門地区小型船安全協会と合同で、小型船舶の海難の減少に向けた「小型船舶海難防止強化運動(10月1日～14日)」の一環として、10月4日に関門港で小型船舶安全合同パトロールを行いました。

第七管区海上保安本部管内(福岡、佐賀、長崎、大分の各県と山口県西部)の小型船舶の海難事故は、2010年～14年の5年間に、海難事故全体の2070隻のうち、プレジャーボート746隻、漁船688隻で、合わせて全体の7割を占めています。

当日は、関門地区小型船安全協会所属のパトロール艇により、新門司マリーナから北九州空港沖までの洋上で、プレジャーボートに対し、発航前の点検や救命胴衣の着用、適切な見張りの徹底を指導するとともに、小型船舶検査(船検)の受検や小型船舶操縦者免許証の更新について注意を呼びかけました。

今後も各関係機関と連携を図り、パトロールや広報活動を継続して実施し、小型船舶の海難防止を目指していきます。

合同パトロールの様子は次のURLからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_317\\_2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_317_2.pdf)

(福岡運輸支局)

---

#### ◆めざせ!造船のプロフェッショナル

～全国に3校しかない工業高校造船コースの生徒が造船現場を見学～

かつて日本の高度成長を支えた造船業は、地域の基幹産業として地域経済や雇用面で大変重要な存在であり、その地位は今でも大きくは変わっていません。その造船業を人材面で支える目的で、以前全国の工業高校に約20校造船科が設置されていましたが、現在は全国に3校を残すのみとなっています。

このうちの1校が山口県立下関中央工業高校機械・造船科で、ご多分に漏れず、来年4月からの県立高校の統廃合で、造船科の廃科が俎上に載せられていましたが、地元造船業界からの強い要請で、存続することが決まりました。

去る9月28日、下関海事事務所では、この下関中央工業高校と連携し、同校の造船コース2年生25名（男子18名、女子7名）を対象に、造船業への就業促進を目的にした造船現場の見学会を開催しました。

最初に訪れた三菱重工業株式会社下関造船所では、会議室で建造方法や工程などの説明を受けた後、実際の現場を見学しました。途中同高の先輩に会うなど和やかな雰囲気の中、初めて造船所を訪れる生徒も多く、造船所の広さや船の大きさに驚いた様子でした。

また、バーナーと水を巧みに操り鉄板を曲げていく“ぎょう鉄”の作業現場では、見学者全員が真剣に見入っていました。

次に訪れたMHI下関エンジニアリング株式会社では修繕船の作業を見学しましたが、担当者から「常に安全第一で作業しており、入社後3ヶ月間は研修でその勉強をする。」との説明を受け、とかく危険な作業のイメージがつかまとう造船業ですが、安全に対する真摯な取り組みが伝わったのか、大いに好感をもったようでした。

見学終了後に実施したアンケートでは、参加者全員が「参加して良かった」と答えるとともに、この見学会で造船業に対する印象が「変わった」と答えた生徒が、25名中20名おり、そのうち17名が「思っていたより良いイメージだった」と答えました。

全国的にも貴重になった工業高校造船科ですが、より多くの生徒に造船業の道へ進んでもらうためには、やはり実際に造船所の現場を見てもらい、仕事のやり甲斐や安心感を実感することが大変重要であると改めて感じたところです。

今回の取組では、中央工業高校の校長先生から大いに感謝されましたが、当海事事務所としては、こうした産学官が連携した取組を通じ、地域の基幹産業である造船業の振興に今後も少しでも貢献していきたいと思っています。

見学の模様は次のURLからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_317\\_3.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_317_3.pdf)

（下関海事事務所）

---

## 2 お知らせ

◆「地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム2015 in九州～地域公共交通及びまちづくりにおける住民・事業者の参画について～」を開催します。

九州運輸局では、九州地方整備局と連携し、より幅広い層の関係者の理解を深めるとともに、地方公共団体を中心に、住民・事業者等の地域の多様な関係者が当該地域にとって最適な公共交通について検討し、取り組むことを期して「地域公共交通

のあり方を考えるシンポジウム 2015 in 九州～地域公共交通及びまちづくりにおける住民・事業者の参画について～」を開催することとしました。  
また、シンポジウムの開催に併せて、地方公共団体や交通事業者等の実務者向けに地域公共交通セミナーを開催致します。  
皆さまお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

#### 地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム 2015 in 九州

～地域公共交通及びまちづくりにおける住民・事業者の参画について～

日 時 : 平成27年10月27日(火) 13時00分～17時30分  
場 所 : 中小企業振興センタービル 2階大ホール(福岡市博多区吉塚)  
定 員 : 300名(申込先着順、参加無料)

#### 地域公共交通活性化セミナー2015 in 福岡

日 時 : 平成27年10月28日(水) 9:30～12:20  
場 所 : 中小企業振興センタービル 2階大ホール(同上)  
定 員 : 300名(申込先着順、参加無料)

参加申込・お問合せ先【参加申込期限:10月20日(火)(シンポジウム・セミナー)】

九州運輸局交通政策部交通企画課

TEL:092-472-2315、FAX:092-472-2316

E-mail:[qst-qst-kikaku@ml.mlit.go.jp](mailto:qst-qst-kikaku@ml.mlit.go.jp)

※参加希望の方は、氏名、所属(団体名・企業名等)、連絡先(電話番号・メールアドレス)、参加希望の講演名(シンポジウム・セミナー)をメールに記載し、上記アドレスに送信ください。

---

◆まだまだ各地で楽しみな鉄道イベントが開催中  
～10月は九州レイルマンス～

10月14日の「鉄道の日」は、明治5年10月14日に日本で初めて新橋～横浜間を鉄道が開通したことを記念し制定されました。JRや私鉄などの駅で「九州レイルマンス2015」のポスターを目にされた方も多いかと思いますが、10月から11月にかけて各地で楽しみな鉄道イベントが開催されています。

10月も半ばを迎えましたが、まだまだ楽しみなイベントが盛りだくさんです。行楽の秋、皆さんお誘い合わせのうえお出かけしてみたいかたがですか。九州各地でのイベントスケジュールはこちらのURLからご覧下さい。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_317\\_4.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_317_4.pdf)

---

#### 3 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部より //////////////////////////////////////

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。  
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本  
メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

---

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: [qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp](mailto:qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

---